



AXIES

大学 ICT 推進協議会

EdTech部会

■第13回研究会

「大学DXはどこまで進むのか？文科省PlusDX採択大学の取り組み(1)」

1

共愛学園前橋国際大学

デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

KYOA Career Gate×AIによる個別最適学修の実現 ～地方小規模大学DXモデルの構築～



共愛学園前橋国際大学
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

学 長 大森昭生
国際社会学部長 村山賢哉



共愛学園前橋国際大学について



明治21年 100周年事業 110周年事業 130周年事業

2004年共愛社から共愛学園へ

幼稚園・保育園統合

共愛学園

子ども園

学童クラブ

小学校

中学校

高等学校

前橋国際大学
短期大学部

前橋国際大学

2024年短大全面改組

設置者変更
他法人からの移管

短期大学部

1998年移転 2001年男女共学

上毛共愛女学校

前橋英和女学校

改称

開校

開校

女子短期大学

前橋国際大学

開校

中学校

小学校

学童クラブ

子ども園

木瀬保育園

学童クラブ

市立保育園
民間移管

公立小児童のために開設

開校

高校に併設

開設

共愛幼稚園

新島襄も発起人の一人

共愛学園前橋国際大学の概要

共愛学園前橋国際大学

国際社会学部 国際社会学科

国際社会
専攻

E

英語 コース
ENGLISH COURSE

I

国際 コース
INTERNATIONAL STUDIES COURSE

I

情報・経営 コース
INFORMATION TECHNOLOGY
BUSINESS MANAGEMENT COURSE

P

心理・人間文化 コース
PSYCHOLOGY
HUMANITY AND CULTURE COURSE

地域児童
教育専攻

C

児童教育 コース
CHILDHOOD EDUCATION COURSE



名 称
英語名

共愛学園前橋国際大学
KYOAI GAKUEN UNIVERSITY

理 念

共愛 = 共生の精神

目 的

国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成

モットー

学生中心主義
地域との共生
ちょっと大変だけど実力がつく大学です

定 員

入学定員299名
収容定員1066名

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie

共愛学園前橋国際大学のチャレンジ

教育改革

GLOCAL PROJECT

文科省4大事業同時採択全国2大学のみ

ACTIVE LEARNING

学修成果の可視化と教学マネジメント

地方創生

在籍学生の
9割弱が
群馬出身

就職者の
7～8割が
群馬県内就職

地学一体
の学び

DX

2010年～
ユビキタス
キャンパス

Full Paper
Less Campus

文科省DXPLUS 選定

- AIによる個別最適学修構築
- オンラインデジタルコンテンツの活用
- LMSの完全活用

ガバナンス

教職一体ガバナンス

スタッフ会議
運営センター

若手職員の活躍

地学一体で育てる「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」 ＝「飛び立たないグローバル人材」

KYOAI
GLOCAL PROJECT



各コースの専門性とGGJ・COCの実践が有機的に運動し、質の高い学修プログラムを提供

スーパーグローバル大学等事業 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (GGJ)
(全国42大学・県内1大学)

＜次世代の地域社会を牽引する
グローバルリーダーの育成＞

- Global Career Training 副専攻
- 地域連携グローバル人材育成推進協議会
- Global Project Work
- 海外留学60%

国際社会学部

英語コース
国際コース
情報・経営コース
心理・人間文化コース
児童教育コース



文部科学省
地(知)の拠点

地(知)の拠点整備事業 (COC)

(全国77大学・県内2大学)

＜地学一体化加速プロジェクト
：持続的地(知)の拠点創成へ＞

- サービスラーニングターム
- 地域理解科目群の100%履修
- 地域産業人材に求められる素養の検討
- 地学一体化モデルの構築

21012～2019に
KYOAI GLOCAL PROJECTの
基盤となる

GGJ・COC・AP・COC+
4大事業の拠点に選定

学修プログラム

学生

**地域・地域産業界に必要な人材
グローバル・リーダー**

地域に根差しながら、地域と世界をつなぎ、
海外の人材・物流・活力を地域に取り込み、
地域の振興を先導する人材

〔学生の85%が群馬県出身、卒業生の70%が県内に就職〕

学びのPDCA

学修プログラムのPDCA

学修成果確認

学修質保証

大学教育再生加速プロジェクト (AP) (全国46大学・県内1大学)

＜学修質保証システムの構築＞

- アクティブラーニングの促進と質保証
- 学修質保証システム基盤整備
- 学修成果の可視化



GGJ・COC・AP
の3大事業の採択
を受けているのは
全国で4大学のみ

〔学修質保証システムにより、学生は学修成果を確認しながら学びのPDCAを、大学は学修プログラムのPDCAを展開〕



文部科学省
地(知)の拠点

地(知)の拠点大学による地方創生推進事 (COC+)

(全国40大学・私立大学は2大学のみ)

＜持続的^①地方創生共同体形成プログラム
：若者定着^②県域総ぐるみ計画＞

- 社会連携教育による地域人材育成
 - 地域産業人材育成 □ インバウンド人材育成
 - イノベーション人材育成 □ 次世代農業人材育成
- 多様なインターンシップ
- 産業界と大学の密なコミュニケーションの創出
- 地元人材のための雇用創出やUターン支援

事業協働機関

- 【参加大学】 高崎商科大学、上武大学、明治学院大学
 【参加自治体】 群馬県、前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市
 【参加企業等】 群馬県商工会議所連合会、群馬県中小企業同友会、前橋商工会議所、群馬銀行、しのめ信用金庫、上毛新聞社、ワークエントリ、サンデンホールディングス、ジェイアイエヌ、相模屋食料、サンデン環境みらい財団、教育支援北関東、いせさきNPO協議会社会貢献ネット
 【協力大学】 群馬大学、群馬県立女子大学、群馬県立県民健康科学大学、前橋工科大学、高崎健康福祉大学、東洋大学（板倉キャンパス）、群馬医療福祉大学

共愛学園前橋国際大学の評価と現状

4位

学長が教育面で注目する大学
(過去4年連続5位)

- 1位 金沢工業大
- 2位 国際教養大
- 3位 国際基督教大
- 4位 共愛学園前橋国際大**
- 5位 東京工業大
- 6位 立命館アジア太平洋大
- 7位 東北大
- 8位 早稲田大
- 9位 千葉大・筑波大

11位

学長が総合的に注目する大学

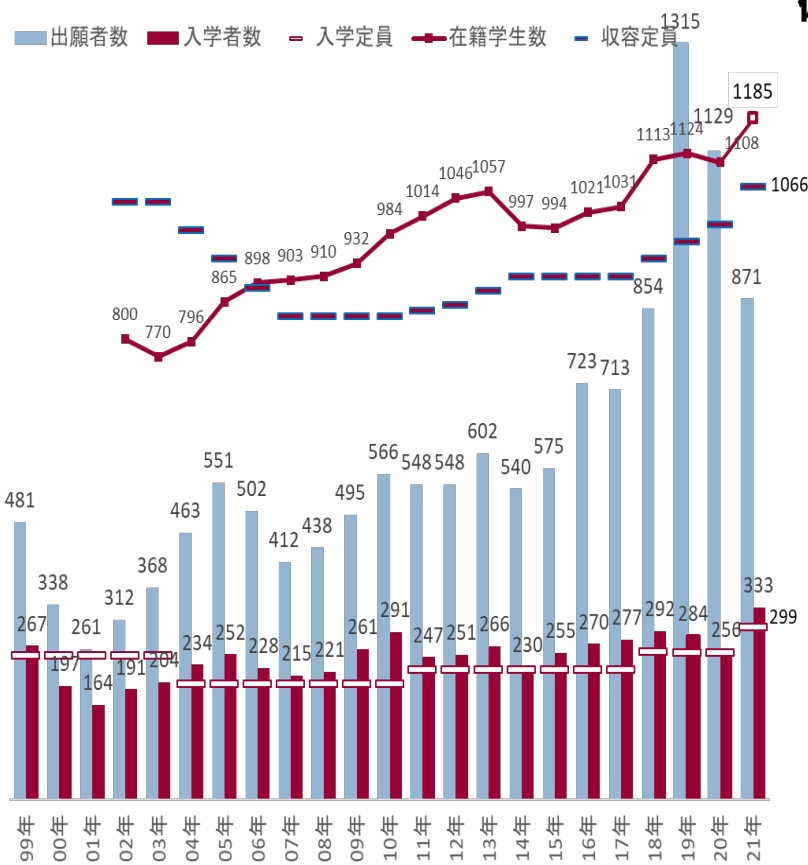
- | | |
|----------|----------------------|
| 1位 京都大 | 7位 国際教養大 |
| 2位 東京大 | 8位 国際基督教大 |
| 3位 東北大 | 9位 筑波大 |
| 4位 金沢工業大 | 10位 名古屋大 |
| 5位 大阪大 | 11位 共愛学園前橋国際大 |
| 6位 東京工業大 | |

4位

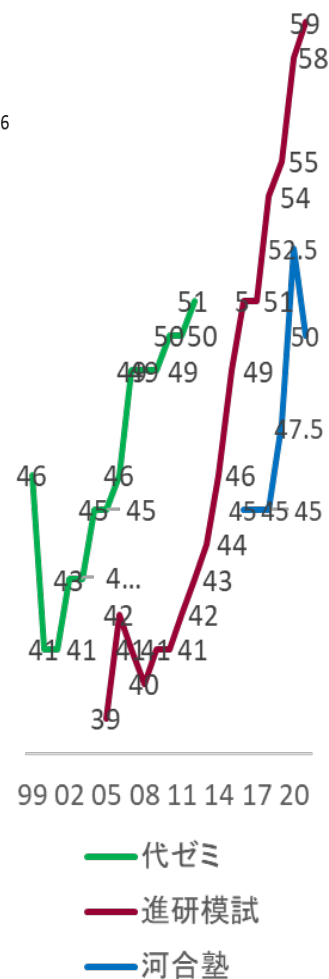
学長が注目する学長

『大学ランキング2022』（朝日新聞出版）

在籍学生数・出願者数・入学者数推移



偏差値の推移(参考)



過去最高入学者

全国的な評価：国の高等教育施策に本学の知見が求められる

各種委員等として

- 内閣官房 「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」 委員
- 経団連 採用と大学教育の未来に関する産学協議会委員
- 文部科学省中央教育審議会 大学分科会委員
- 文部科学省中央教育審議会 大学分科会質保証システム部会委員
- 文部科学省中央教育審議会 教学マネジメント特別委員会専門委員
- 文部科学省中央教育審議会 教職課程の基準に関する検討委員会委員
- 文部科学省 知識集約型社会を支える人材育成事業委員
- 文部科学省 私大等改革総合支援事業委員会委員
- 日本高等教育評価機構大学評価判定委員会委員

好事例への掲載・事例報告

- 教育再生実行会議（官邸）における事例報告
- 自民党教育再生実行会議・教育再生調査会等で複数回の事例報告
- 平成30年度文部科学白書（本学主導の「めぶく。プラットフォーム前橋」）
- 文部科学省『地域で学び、地域を支える。 大学による地方創生の取組事例集』
- 文部科学省 「教学マネジメント指針 好事例集」
- 文部科学省『中等教育資料』
- 日経新聞 地方創生と大学 等々

(参考) 本学に関する書籍や事例集等



地域に愛される大学のすすめ

出版社：三省堂 (2011/7/26)



今選ぶなら、地方小規模私立大学！

～偏差値による進路選択からの脱却～

出版社：レゾンクリエイト
(2018/10/19)



新たな大学像を求めて

共愛学園前橋国際大学はなぜ注目されるのか

出版社：IN通信社 (2019/11/14)



「大学等における「教職協働」の先進的事例に係る調査」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1403495.htm



地域で学び、地域を支える。 大学による地方創生の取組事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/chihoujirei.html



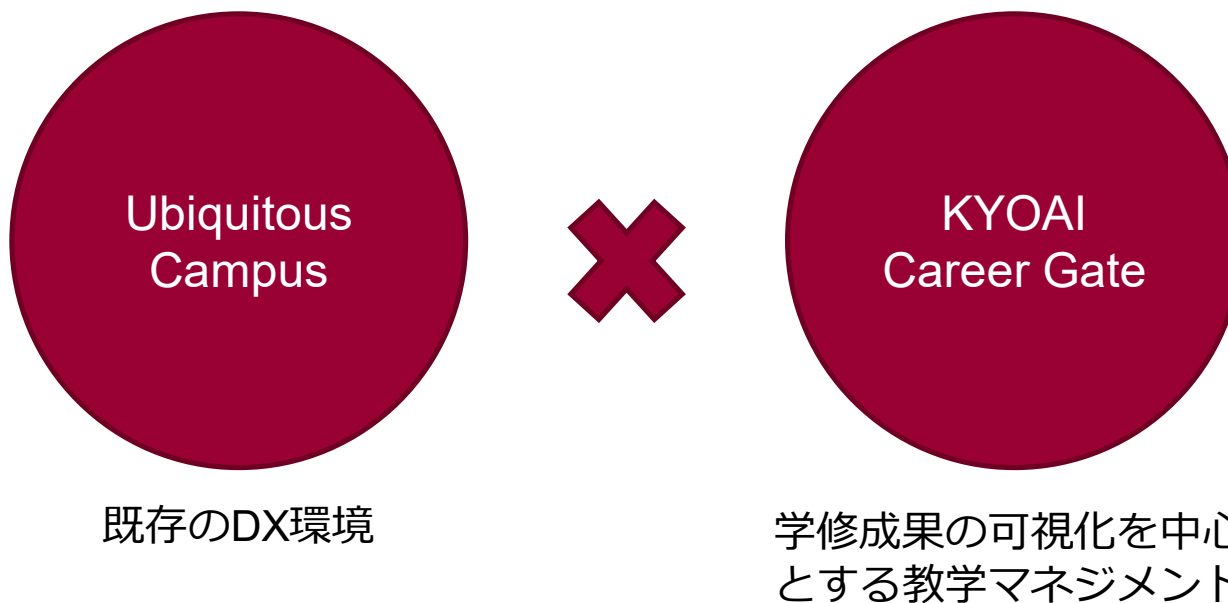
「教学マネジメントの確立に資する事例の把握等に関する調査研究」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1418380_00003.htm

その他、雑誌記事等多数



取組の背景



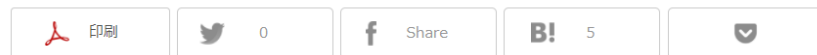
2010～Ubiquitous Campus

2010年 キャンパス全域をwifi化、 学生全員にiPod touchを配布

共愛学園前橋国際大学、全学生と教職員にiPod touch配布 ——iPadも順次導入

© 2010年04月02日 16時30分 公開

[ITmedia]



共愛学園前橋国際大学は、2010年度から全学生と教職員にアップルのiPod touchを配布すると発表した。合わせてキャンパス内を無線LANエリア化し、ユビキタス・キャンパスを始動させる。

双方向型授業で利用するほか、語学自習、時間割や授業概要などの学内情報提供、成績や出欠状況などの個別情報へのアクセス、履修登録などの幅広い用途で活用。iPadも順次導入する予定としている。



共愛学園ロゴの入ったオリジナルiPod touchを配布する

- **タブレット配布→現在はBYOD**
 - 学びが空間に制限されなくなる
 - 出席や履修登録もデバイス上から
- **LMSの活用**
 - 無制限の資料配布
 - レポート提出
 - 授業中／後のチャットによるディスカッション
 - 授業の双方向性の担保
- **E-ポートフォリオによる学修成果の可視化**
- **教授会や各種会議等も完全ペーパーレス**
- **グループウェアの活用（スケジュール・ファイル管理・各種申請業務）**
- **RPAの導入**

(参考)共愛学園高等学校のDXとICT活用教育

ICTのある学校生活

◆ AI時代の到来を見据えた3年間が始まる

生徒が将来のために、どのような能力を身につけていく事が大切なのかを見極める高校生活を送るために、共愛学園は生徒が主体的に問題解決をするアクティブラーニングの一環として、ICT教育を展開しています。

高校1年生から、学習だけでなく学校生活全般で使用するツールのひとつとして、生徒1人に1台のiPadを所有し、自分の未来のために、新しい文房具として使いこなしていきます。



◆ ユビキタス・キャンパスKYOAI

ICT政策の一環であるu-Japan構想(総務省)では、「ICT活用的高度化」・「情報セキュリティの拡充」に加え「ユビキタス社会の実現」を大きな柱として掲げています。共愛学園でも、ネットワークインフラの拡充や技術の開発に力を注いできました。教室はもちろん、校舎内どこでもWiFiが繋がったユビキタス・キャンパスは、どこにいてもネットワークでコンピュータの支援が得られ、他者とつながることができます。

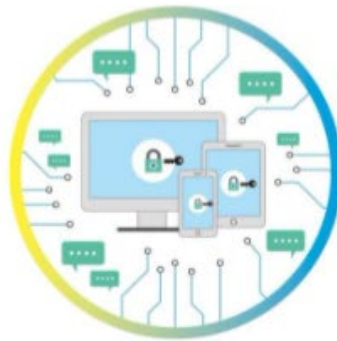


◆ 情報リテラシーと安全な機能制限

共愛学園は、ネット上の情報を正しく判断し安全に利用するための情報リテラシー教育を重用しています。信頼できる情報を見分け、著作権・肖像権等のルールを知り、個人情報を守ることを学習する他、SNS利用の際の注意事項も学校として定めており、責任をもった情報の活用を推進しています。

◆ 学習ツールとしてのルール

生徒全員共通のアプリをインストール。ゲーム、SNS禁止。
生徒による学校指定以外のアプリのインストールは不可。閲覧サイトをブラックリスト化し制限 など



学習ツール

学びが変わる、学習サポートシステム

“苦手克服”

AI型教材が、生徒一人ひとりのつまずきを解析し苦手を徹底的に克服していきます。



キュビナ

“反復学習”

苦手科目をなくすために、映像授業が見放題で自分のペースで集中的に学習できます。



スタディサブリ

“オンライン英会話”

論理的なディスカッションができるようになる実践力を養成します。



リンゲージスピーク forTeens

“主体的な学習”

自分自身で学びを振り返ることで主体的に学ぶ力を育成します。ポートフォリオ活動で学びを次につなげていく力が働きます。



“辞書や参考書検索機能”

多彩な検索機能を搭載した、総合学習システムで授業や自己学習に役立ちます。



ブレインプラス

“大学教授によるミニ講義”

自分の興味・関心と実際の世の中とのつながりを感じるきっかけになります。



夢ナビ講義動画サービス

教師・生徒・保護者がつながるICTプラットフォーム

教師・生徒・保護者間の円滑なコミュニケーションをサポート

2018年度より学校支援クラウドサービス「Classi」の利用を開始しました。様々な場面での学習ツール・連絡ツール・情報管理ツールとしての活用を始めています。ID・パスワードの配付、使い方などについては入学後にご案内します。



生徒の主体的な学びを深め、広げる

JAPAN e-Portfolio

- (1) 自分の活動成果や学びを記録)
- (2) 活動成果や学びを振り返る)
- (3) 蓄積した「学びのデータ」を、大学へ提出)

3年間の授業や行事、取得した資格・検定や学校以外の活動成果を記録し、今後の学び・成果につなげていくためにデータをポートフォリオとして蓄積。大学受験の出願等に利用することが可能です。



—KYOAI CAREER GATE—

4年間の主体的な学修とその成果を目に見える形で積み上げ、キャリアにつなげる。

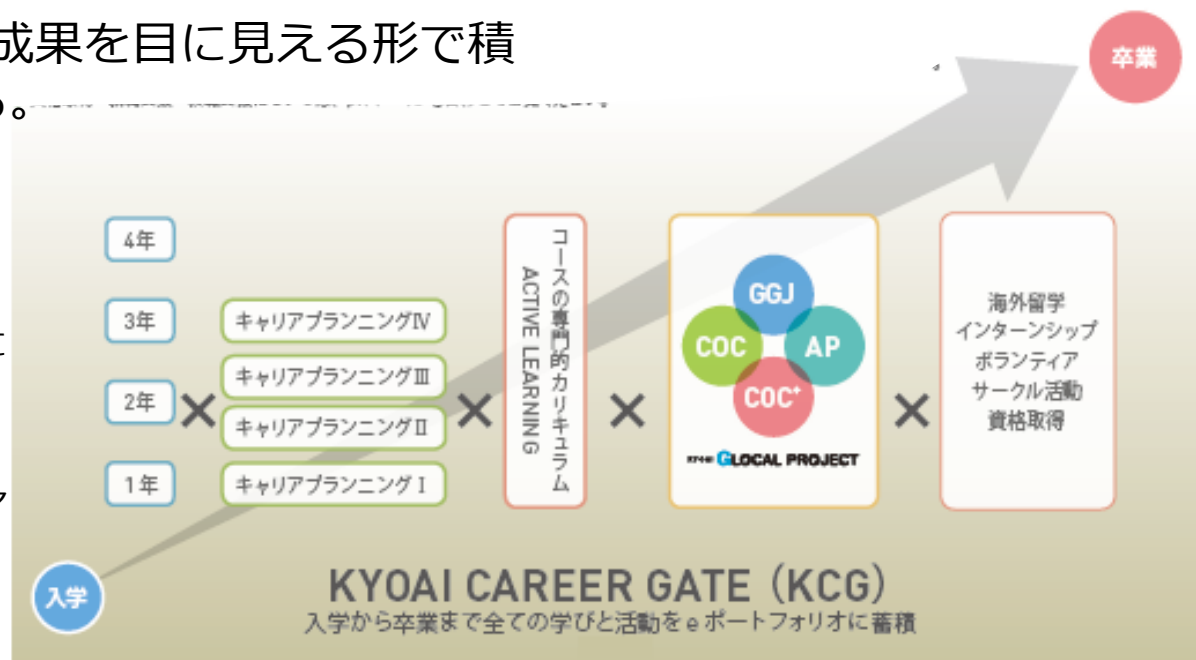
4年間に会うたくさんの学びと活動。その一つ一つを、eポートフォリオである

KYOAI CAREER GATE

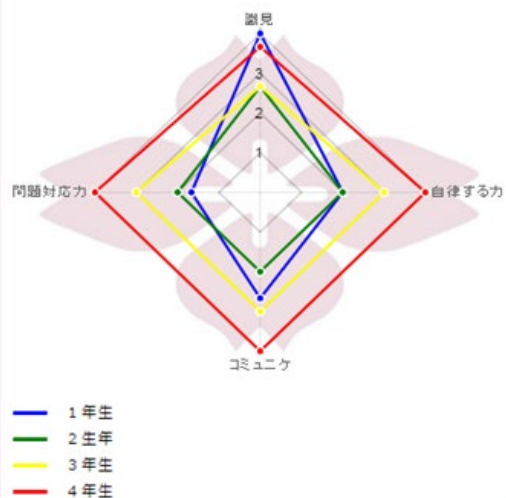
に蓄積し、自分の学修を振り返りながら、それをエビデンスとして、学修成果指標に基づく成果の自己評価と可視化をします。さらに、その活動や成果を

SHOWCASE

を通して社会へと発信し、目指すキャリアへと接続します。



共愛12の力 レーダチャート



4年間の学修で身に付ける4つの軸と12の力 (学修成果指標)

識見	■ 共生のための知識	■ 共生のための態度	■ グローバル・マインド
自律する力	■ 自己を理解する力	■ 自己を制御する力	■ 主体性
コミュニケーション	■ 伝え合う力	■ 協働する力	■ 関係を構築する力
問題に対応する力	■ 分析し、嗜好する力	■ 構想し、実行する力	■ 実践的スキル

SHOWCASE (KCG+S)

KCG に蓄積した成長の記録を公開履歴書としてキャリアに接続

≡ CAREER ≡

ディプロマポリシーと「共愛12の力」(学修成果指標)

建学の理念：共愛＝共生の精神

教育の目的：国際的な視野を持ち、地域の諸課題を解決できる人材育成

ディプロマポリシー (DP)：

1. 地域社会の諸課題への対応能力
2. 国際社会と地域社会の関連性についての識見
3. 問題を発見し解決するための分析能力・実技的技能
4. 国際化社会に対応できる十分なコミュニケーション能力



各コースが育む
知識・スキル

共愛12の力

識見	共生のための知識
	共生のための態度
	グローバル・マインド
自律する力	自己を理解する力
	自己を制御する力
	主体性
問題に対応する力	分析し、思考する力
	構想し、実行する力
	実践的スキル
コミュニケーション力	伝え合う力
	協働する力
	関係を構築する力

理念・目的・ロゴ・地域産業界ニーズ
から導かれる達成指標

- ・ シラバスに「共愛12の力」との対応を明記
→ KCG (eポートフォリオ) に履修履歴と共に蓄積

到達目標	高校からの環境移行に伴う変化にうまく適応し、新たな関係づくりができることや資料調査を行う際に必要な基本技術を身につけることを目標とします。	
「共愛12の力」との対応	識見	自律
	共生のための知識	○ 自己を理解する力
	共生のための態度	－ 自己を制御する力
	グローバル・マインド	○ 主体性
教授法	ゼミ別に分かれた授業と、5ゼミ合同の授業を適宜使い分けて行います。授業の進行は演習交流も重ねて、上級生の海外体験を聴くなどの特別セッション、グループ作業、スポーツ大会	
受	アクティブラーニング	○ サービスラーニング

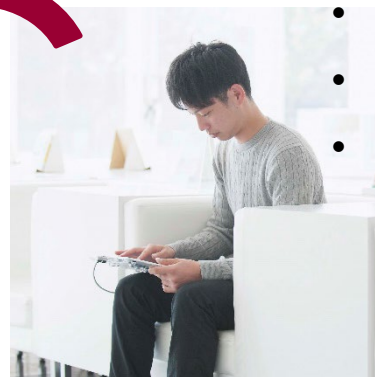
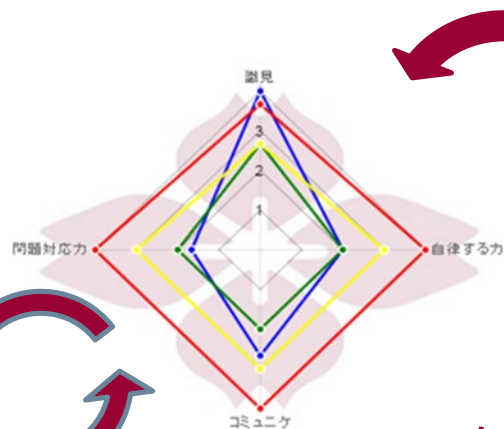
共愛学園前橋国際大学がめざす

エビデンスベースの自己評価による学修成果の可視化と自律的学修者の養成



リフレクション

リフレクションアワー
+
担当教員との個別面談



自己評価

- 学修活動の振り返り
- 学修計画の調整・改善
- 学修成果の総括

ショーケース
キャリアプランニングで
の作成指導

学生の自主的な取り組みに加え、
授業課題やゼミ選択条件とするなどの
動機づけも

エビデンスの蓄積

(ポートフォリオ : KCG)

共愛12の力にリンク

評価規準
(コモンルーブリック)

授業での学修

学内活動

学外活動

科目	振り返り
〇〇演習	...
△△学	...
□□概論	...



(参照)
外部テスト



Kyoei Career Gate の実際

共愛学園前橋国際大学

マイポータル > ポートフォリオTOP

プロフィール

キョウアイ タロウ
共愛 太郎
国際社会学部 国際社会学科 4年
0122XXXX
プロフィール変更

共愛12の力 自己評価(1年次) 詳細

共愛12の力 自己評価(2年次) 詳細

共愛12の力 自己評価(3年次) 詳細

共愛12の力 自己評価(4年次) 詳細

共愛12の力 レーダチャート

学内活動

作成日	件名
2015/04/29	基礎演習I
2015/05/15	子どもの生活と学び
2015/05/20	子どもの生活と学び
2015/05/27	基礎演習I
2015/06/11	子どもの生活と学び
2015/06/24	基礎演習I
2015/07/22	基礎演習I
2015/07/25	オープンキャンパス コース説明
2015/08/04	海外サポートインターン研修
2015/08/06	オープンキャンパスリハール
2015/10/07	オープンキャンパス反省会
2015/10/08	シャロン質疑し合い

学外活動

作成日	件名
2015/07/10	保育実習生ボランティア

取得資格

取得日	資格名
2015/04/13	TOEIC 620点
2014/10/31	リトミック指導員 初級

学年振り返り

1年生

目標(1年生)

一人暮らしでの生活・グローバルな視点・子どもと関わることを目指す。大学で学んだことを活かして、社会で活躍できるように頑張る。

振り返り(1年生)

1年生の生活・グローバルな視点・子どもと関わることを目指す。大学で学んだことを活かして、社会で活躍できるように頑張る。

<記録項目>

- 「共愛12の力」の自己評価
- 学内活動 学外活動
資格取得 読書履歴
- 学年目標
- 学年振り返り
- 授業振り返り

※活動記録は投稿時に自分で「12の力」とタグ付け
※履修情報・シラバスと連動

コモンルーブリックを 規準として自己評価

活動	概要・コメント・成果物など
授業A	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
授業D	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 
● ● ●	
▼▼ (留学)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● 
□□ (サークル)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
○○ (読書履歴)	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

「主体性」にタグ付けされた記録を一括表示

Kyoei Career Gate の実際

自己を理解する力 (2
年次)

レベル3:様々な経験を振り返ることを通じて、自分の特徴、強みや弱み、成長を客観的に理解することができる。

自己を制御する力 (2
年次)

レベル3:ストレスや感情の揺れ動きと上手く付き合いながら、困難な課題に取り組み続けることができる。

主体性 (2年次)

レベル3:自らすべきことを見つけ、行動し、その結果を振り返り、次の行動に活かすことができる。

エビデンスにした活動や授業 (2年次)

ミッショングローバル研修は、異国の地で毎日1つの課題を限られた時間で解決していきました。私は海外に行くのも初めてでそんな中課題を与えられ、辛くストレスに感じることもありましたが、友達と励ましあったりすることで研修に前向きに取り組むことができました。また、チームで活動することが多かったので限られた時間の中で自分は何をすることでチームのためになるのかを常に考え行動することができました。

伝え合う力 (3年次)

レベル3:適切なコミュニケーション手段・スキルを用いて、自分の伝えたいことをわかりやすく表現することができる。

協働する力 (3年次)

レベル3:多様な意見や立場、利害を把握した上で、グループ内の関係性構築に貢献できる。

関係を構築する力 (3
年次)

レベル4:自分とは異なる価値観や文化を持つ他者や、バックグラウンドが大きく異なる他者とも円滑な関係を築くことができる。

エビデンスにした活動や授業 (3年次)

インバウンド人材育成PRGでは、学年、コースの異なる学生とチームを組み、活動を行っていたため、活動中は様々な意見やアイデアが出され、新しい考え方というものを学んだ。また、前橋市でインバウンド事業に取り組んでいる市の職員や、フラワーパークの社長など、多くの方々と一緒に活動していく中で、社会人とのコミュニケーションの取り方や、距離感、話し方など、多くのマナーが身に着いた。

KCG+Sの実際 (ショーケース)

KCG+S KYOEI CAREER GATE SHOW CASE 共愛学園前橋国際大学

ハイライト	学内活動	学外活動	取得資格	すべて
2012				
November 24		バーチャルカンパニートレードフェア2012 京都府知事賞受賞 学外活動 2012/11/24ハイライト 2012年度の前期・後期を通して活動してきた電子商取引実習の一環として参加した大会で最優秀賞 京都府知事賞を受賞した。 この大会は、日本全国の小学生から大学生までが仮想企業を立ち上げて参加するというものである。それぞれの企業(チーム)が各地の特色を生かした商品やサービスを作り上げ、その成果を発表する。私たちの企業は私を基の1年生2名、2年生2名計4名で参加し、群馬県の特産品であるこんにゃくをモチーフとした商品を出展した。 京都大学を会場として行われるこの大会では、実際に対面販売を行い、生のお客様の声を聞くことで「自分たちの活動がここまでよかった」との点はさらに改善が必要だったと自身の成長も実感することができた。 私は今回の大会で最優秀賞を受賞することができた。悔しい方が多く残っている。それは、商品売り切ることができなかったという点である。 この一年の活動で、もっと私が積極的に周りに働き込み話し合いや意思決定のスピードを速めることができている。今回より売れる商品にできていたかもしれないという悔惜が残っている。 そのため、来年度も電子商取引実習を受講することにより、さらに商品開発や販売することについて学びたいと考えている。		



KCG+S (Kyoei Career Gate + Showcase) は、共愛学園前橋国際大学が運営する公開履歴システム(ショーケース)です。学修成果・就業記録システムであるKCG(eポートフォリオ)に属格された大学生生活全般にわたる学びとその学修成果から、学生自身が選択して表示したものです。学生の学びや経験のエビデンス(証拠)としてご活用ください。

共愛学園前橋国際大学 KCG+S ショーケース 学外活動 2012/09/09

バリエーションが豊富で、様々な活動が記録されています。

様々な活動が記録されています。例えば、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

共愛学園前橋国際大学 KCG+S ショーケース 学外活動 2012/09/09

様々な活動が記録されています。例えば、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。

また、学生が参加した様々なイベントや、学修成果の記録、就業記録など、様々な活動が記録されています。



共愛学園前橋国際大学の取組概要

共愛学園前橋国際大学 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

取組名称：KYOAI Career Gate×AIによる個別最適学修の実現～地方小規模大学DXモデルの構築～

キーワード：#KYOAI Career Gate #ヒト中心のAI #地方小規模大学

取組概要：本学は、2010年にUbiquitous Campusを構築し、BYODによる教務システム連動デジタル出席確認システムやLMS、KYOAI Career Gate(KCG：eポートフォリオ)の導入、完全ペーパーレス会議やグループウェアの活用等のデジタル化を推進してきた。これらの取組を基盤とし、地方小規模大学の地域におけるリアルな学び、教室における顔の見える教育といった強みを補強し、リソース不足等の弱みを克服するための外部デジタルコンテンツ活用等のさらなるDXを推進する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、外部デジタルコンテンツの活用によって学修補完プログラムを構築、さらに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に個別双方向の質の高い教育を展開する。同時に、会議の完全ペーパーレス化等の実績を大学業務全体に波及させ、Full Paper-Less Campusを実現するとともに、キャンパスモバイルフォンの導入やFull Remote Access Campusの可能性を模索し、大学運営のDXを推進する。

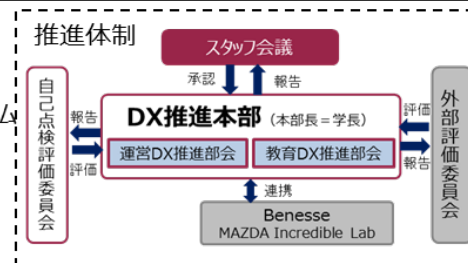
＜機関全体のDX推進計画＞

＜教育領域のDX＞

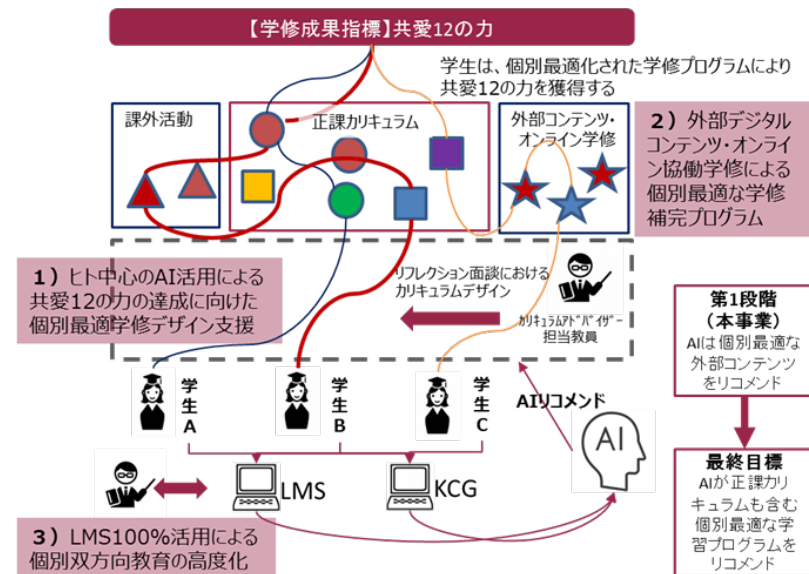
- 1) ヒト中心のAI活用による「共愛12の力」の達成に向けた個別最適学修デザイン支援
- 2) 外部デジタルコンテンツの活用、並びに国内外の大学等とのオンライン協働学修の導入による個別最適な学修補完プログラム
- 3) LMS完全活用による個別双方向学修の高度化

＜大学運営領域のDX＞

- 1) Full Paper-Less Campusの構築
- 2) Full Remote Access Campus の構築
- 3) DX推進研修の充実



＜DX推進計画のうち本事業で取り組む内容＞



＜取組の目標、取組をととして得られる成果＞

指標	達成目標		備考
	R2～3年度	R4年度	
LMS活用率	80%	100%	全授業を母数とする
AIリコメンド活用率	60%	80%	対象学年を母数とする
外部コンテンツ受講率	70%	80%	対象学年を母数とする
平均授業外学修時間	16時間	17時間	週あたり。(R1年度実績15時間)
学修満足度調査結果	90%	90%	「力がついたか」への「そう思う」卒業時回答率 (R1年度実績87.8%)
共愛12の力の評価	3.3pt	3.5pt	12の力の卒業時評価 (4点満点)の平均 (R1年度実績3.28pt)

＜取組の先導性、先駆性及び普及可能性＞

本取組の基盤であるKCGによるエビデンスベースの自己評価による学修成果の可視化自体が、教学マネジメントの先駆的な取組として、先導性を有し、さらに、KCG×AIによって学修者本位の個別最適学修を展開する試みであると同時に、ヒト中心という理念を置くことで、今後の教育におけるAI活用モデルを提示するものでもある。

同時に、地方小規模大学の強みと弱みを、リアル×デジタルで強化・補強することも、DXが地方小規模大学の今後にもたらす効果のフィジビリティとなると考えられる。



KYOA Career Gate×AIによる個別最適学修の実現 ～地方小規模大学DXモデルの構築～

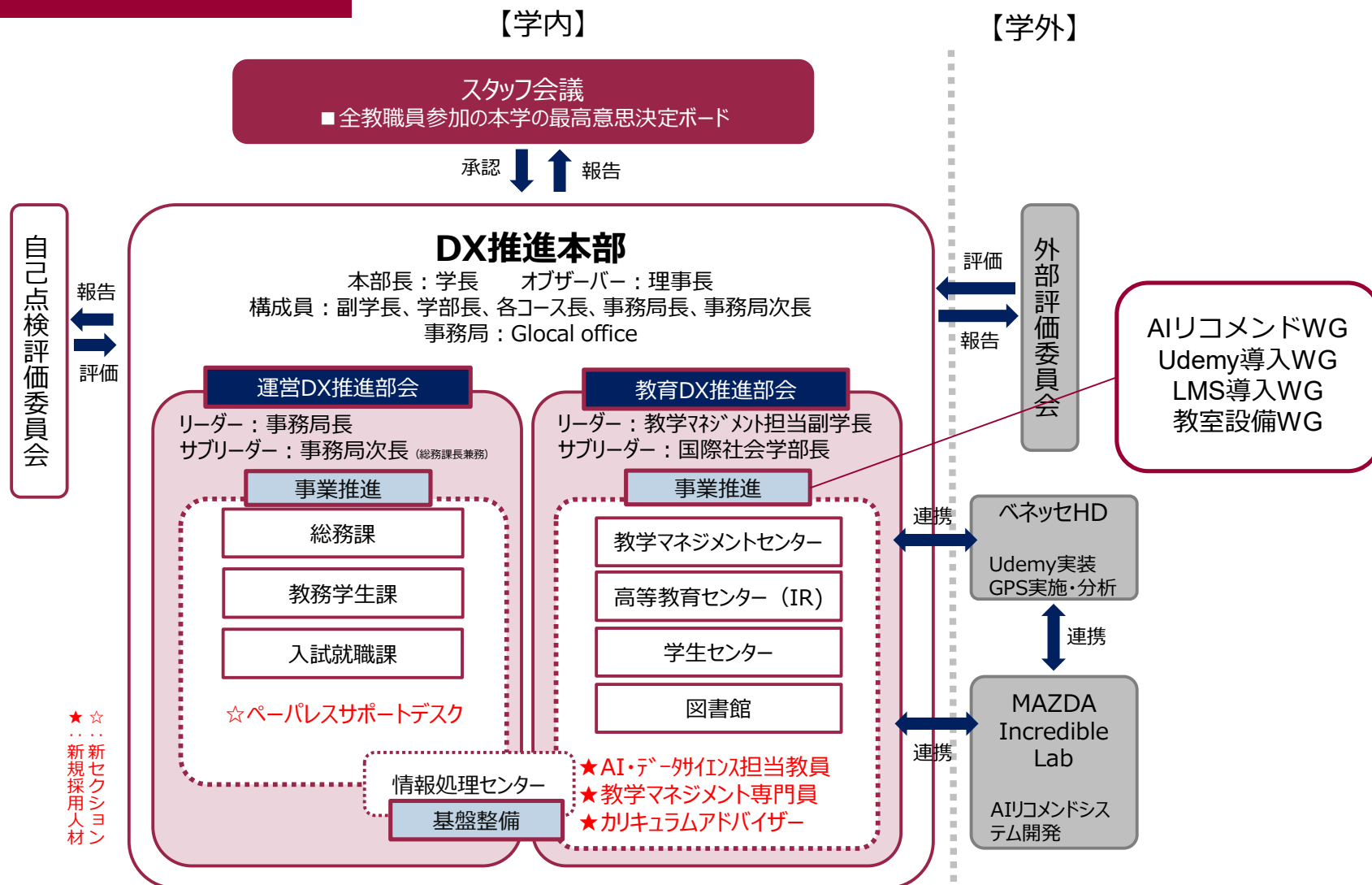
目的

- UCとFull Paper-Less Campusを基盤とし、地方小規模大学の強みを補強し、弱みを克服するためのさらなるDX推進とKCGとLMSとAIの活用を通して、**学修者本位の個別最適学修**を実現する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に**個別双方向**の質の高い教育を展開する。

課題

- 多種多様な教育データを十分に教育の高度化に生かすまでには至っておらず、それらの分析を通して、個々の学生が自身に個別最適な学修プログラムをデザインできる仕組みを構築する必要がある。加えて、学生支援や運営業務においても、一部紙媒体を要する業務が残っており、Full Paper-Less Campusは完全には達成されていない。教職員の働き方も含めた**業務DX推進**も課題である。

事業実施体制



KYOA Career Gate×AIによる個別最適学修の実現 ～地方小規模大学DXモデルの構築～

取組計画

大学運営領域DX

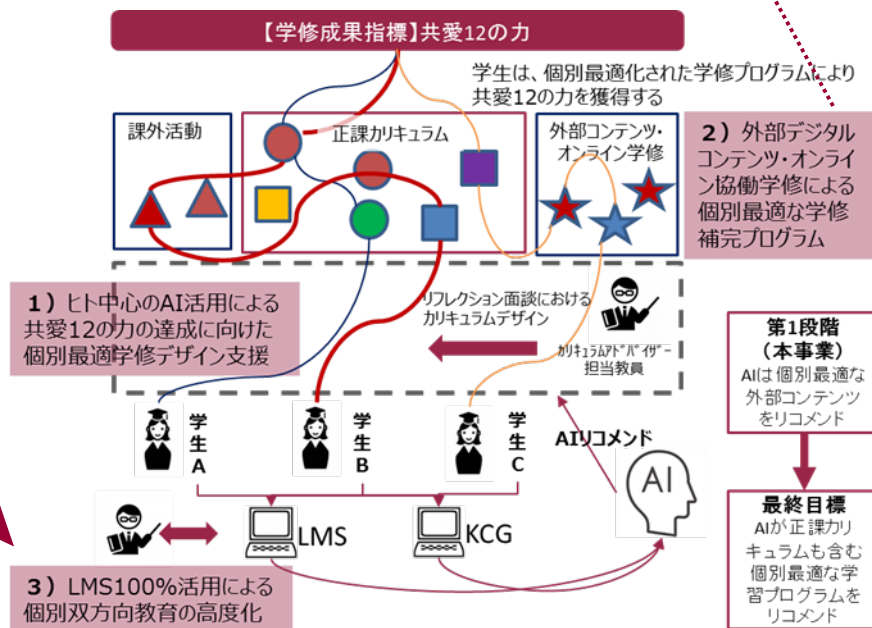
- (1) Full Paper-Less Campusの構築
- (2) Full Remote Access Campusの構築
- (3) DX推進研修の充実

教育領域DX

- (1) ヒト中心のAI活用による「共愛12の力」の達成に向けた個別最適学修デザイン支援
- (2) 外部デジタルコンテンツの活用、並びに国内外の大学等とのオンライン協働学修の導入による個別最適な学修補完プログラム
- (3) LMS完全活用による個別双方向学修の高度化

地方には多様な専門分野の人材が不足しており、多様な教育を用意しづらいという課題がある。また、地域の人材マーケット分野は多様かつ小規模のために、地域の人材ニーズに対応する学位プログラムを設置することは現実的ではなく、常に更新されるニーズや知見を補完する教育を用意することも困難である。

この地方小規模大学の弱みを、デジタルで強化・補強することも、DXが地方小規模大学の今後にもたらす効果のフィージビリティとなると考えられる。





共愛学園前橋国際大学のDX推進≡ヒト中心のDX推進

教育DX:ヒト中心のAI活用による個別最適化学修の実現

目 標

学修者本意の個別最適学修を実現する。特に、蓄積された教育データを有効活用するためにAIを導入し、個別最適学修プログラムの設計を可能とする学修支援スキームを構築することで、学修者本位の学びを実現するとともに、LMS活用率100%を達成し、これまで以上に個別双方向の質の高い教育を展開する。

推進Phase

KCG情報を基礎にした
リコmend
(リフレクション)



AIによる個別最適な
外部コンテンツの
リコmend



AIが正課カリキュラムも含
む個別最適な学修プログラ
ムのリコmend

構築・推進Team

- 本学教育DX推進部会 AIチーム (AI・データサイエンス教員採用)
- MAZDA Incredible Lab. (教育×AI Shuffle.開発)
- Arithmer (AI／システム構築)

共愛の教育×AI のビジョン

学生 A 情報



- KCG評価
- LMS学修データ
- アセスメントテスト結果

レコメンド エンジン (AI)



レコメンド



講義・シラバス



動画



課外活動



書籍

各種コンテンツ



講義・シラバス



動画



課外活動



書籍

機械学習による 共愛12の力への 分類 (AI)



リフレクション



学生



教員





教育DX:外部コンテンツ活用

Udemy

世界最大級オンライン
学修プラットフォーム
(Benesse)

担当：教務学生部 若手職員

電子図書館サービス

担当：図書館司書

COIL本格化

担当：Glocal Office／コース

国内大学との オンラインPBL

担当：学長・学部長

教育DX:LMS活用促進

課題

- 機能の豊富さとUIのわかりづらさとのトレードオフ問題
- マルチメディアファイル（動画・音声）への対応力
- 遠隔授業化によるトラフィック増大
- 学内教職員の負荷増大（サーバー管理／システム管理／利用教育）

検討内容

- LMSが担う学修内容の精査
- 各授業における現在の使用方法との整合性
- アフターコロナにおけるLMSの使われ方／本学の教育の方向性（反転学習含む）

担当：副学長・学部長、ITC若手教員＋最ベテラン教員＋若手職員、教務

検討結果（暫定）

- 外部SaaS型Moodleサービスへの移行
 - 運用実績の活用によるタブレット・スマホ対応
 - 本学教職員は教育（利用方法の教育含む）に専念
 - サービスプロバイダの提供プラグインによるマルチメディア対応
 - クラウド利用によるスケールダウン／スケールアウト対応

教室のDX化

大教室のハイブリッド（ハイフレックス）化

- ・ 対象：収容人数上位 5 教室
- ・ 登壇者撮影用カメラ
- ・ PC画面＋登壇者映像＋教室内マイク音声の映像作成
- ・ Youtube配信・映像記録可能（ボタン一つで配信・記録可能
※豊富な機能よりも「誰でも配信ができる環境」をめざして

DX演習室

- ・ カメラ備え付けの演習室
- ・ コラボゼミや遠隔ゲストとのミーティングを可能に

授業コンテンツ収録ブース

- ・ 防音・遮光のコンテンツ収録ブース（一人用）
- ・ 遠隔授業のコンテンツ作成の支援スタッフ

担当：総務部若手職員＋総務部長、ITC若手職員、学長 他



大学運営DX

従来

After DX

RPA

経理部門のみ

全部門導入

担当：経理部若手職員

Paper Less

会議のペーパーレス化

添付書類／出退管理に
拡張

担当：ヘルプデスク採用

リモート ワーク

リモートアクセスツール
の利用
(部課長クラス以上)

キャンパスモバイルフォン
導入
リモートアクセス方法の
再検討

担当：総務部若手職員